

高校生ワークショップについて

1 ワークショップの目的

高校生を対象としたワークショップを開催し、島田市がどういったまちであれば住み続けたい（住みたい）、将来戻ってきたいと考えるのか、また、そのためにはどういった施策・取組が必要と考えるのか、直接意見・考えを聞き集めることで、より意義のあるデジ田総合戦略の策定につなげる。

2 開催概要

- (1) 日 時 令和5年9月23日（土・祝）10時から正午まで（2時間）
- (2) 会 場 島田市役所（旧庁舎）4階 第3委員会室
- (3) 参加者 市内高等学校に通学する生徒 18人
- (4) テーマ 島田市が「住み続けたい・住みたいまち」であるために何ができるか考えよう
- (5) 方 法 グループワーク4人または5人×4グループ
ファシリテーター4人（各グループ1人）

3 高校生から出た意見

- ・豊かな自然を生かし、住みやすく魅力的なまちを目指す。
- ・お茶を生かしたイベントや商品造成などを行い、お茶のPRに取り組む。
- ・バスの本数を増やすなど交通の便を良くする。
- ・寺子屋やお祭り、イベントなどのボランティアに学生自らが参画する。
- ・映画館などの娯楽施設や商業施設など、若者が集まる施設やスポットを増やす。
- ・プロチームと連携し、プロスポーツ選手を呼んでイベントを開催する。
- ・子育てや福祉に関する制度を利用しやすいものにする。
- ・市と市民が協力してSNSを活用して、市の魅力をPRする。

4 総括

- ・他校や他世代との交流、ボランティア参画など、高校生ならではの意見のほか、子育てや高齢者への支援に係る意見もあり、様々な視点から考えられていた。
- ・SNSに多く触れる世代であるため、どのグループからもSNSの活用が意見として挙がっていた。
- ・その他、自然を残していくこと、各種イベントの実施、市民同士の交流、公共交通の改善、子育て支援などが多く意見として挙げられていた。
- ・最初はこうした取り組みの多くが、市で取り組むことと考えられていたが、意見を交わすにつれて、高校生や市民が取り組むことができることがあることを理解できてきた様子だった。